

質問者



藤岡 緑 議員

Q

## CO<sub>2</sub>削減目標にむけ 環境学習を効果的に

A

「かんきょうノート」の内容などを参考に  
取り組んでいきます

問

先日の「大和市」研修訪問後、環境学習の一環として「かんきょうノート」に注目した。

これは暮らしの中からCO<sub>2</sub>削減の実践度を数値化して環境配慮指針に基づいた活動だった。

当町のエネルギー削減目標4・8%につながる取り組みとして、小中学生の効果的な環境学習として考えてみては。

答

学校教育課長

現在、小学校では資源ごみの再利用の仕組みや工夫などを調べ、住みよい暮らしや自然を守る学習をしています。

中学校では消費生活に伴う自然環境への影響やごみ減量化の工夫や分別方法、またエコ活動などを通じて環境保全や生命を尊重する態度を育てる学習を行っています。

一方で当町の地域省エネルギービジョンに基づきCO<sub>2</sub>削減を生活の中で計算できる環境家計簿の計画もあります。

学校での環境教育にこれの活用ができないか検討中です。「かんきょうノート」の内容も参考にし、より充実した学校教育の推進に取り組んでいきます。

問

いじめ、不登校問題の深刻化に対する  
予防対策は

最近いじめや不登校から問題が深刻化し、若年層の自殺も増えている。この現状を踏まえ、当町としての対策は。

答

学校、地域、家庭の相互連携が大切です

教育長

この問題の対策として



みんなで考えよう 人権の事!  
(北伊予小児童による人権劇より)

をお願いしたい。町の見解は。

答

年度内解決に向けて  
公安委員会に引き続き  
強く要望していきます

産業建設部長

道路新設に伴い安全を確保するため道路の起点と終点に当たる県道、国道、さらに地域から要望のあった別当大橋付近及び義農みそ工場東の交差点について、県の公安委員会に信号機設置の要望をしております。

今後全町的ないじめ対策への体制づくり、また地域や家庭を含め命の大切さを教える人権教育を推進し、学校との相互連携でこの問題の解決に取り組んでいきます。

今春開通予定の  
筒井徳丸線の交  
通安全について

問

新設道路開通により道路周辺の通学路や生活道路としての交通事情を考えると、信号設置の要望は強い。開通までに懸念事項の解決を急ぎ、今後の地域住民への情報提供

新設道路開通により道路周辺の通学路や生活道路としての交通事情を考えると、信号設置の要望は強い。開通までに懸念事項の解決を急ぎ、今後の地域住民への情報提供

また通学路の問題も、防犯灯設置や開通後の状況から防犯カメラの設置なども検討します。住民との意見交換を大切に情報提供をしていきます。